

イラスト
静岡文化芸術大学小浜 純



夢を追いかけて

私が小学生のころ、母親がよく作ってくれた、三角のおいなりさん（稲荷寿司）を家族で食べると、幸せな気持ちになり笑顔になりました。子供心に、おいしい食は、人を笑顔にし、心を豊かにしてくれる力があることを知り、将来、食に携わる道に進みたいという夢が湧いてきました。

中学校の卒業文集に寄せた、将来の夢に「世界一のレストランを経営したい」と書きました。（世界一といっても大きさではなく、心暖かなレストランを）やりたいと思いました。

多くの人にささえられて料理の道六十年以上分業。
すべての人に感謝申しあげます。